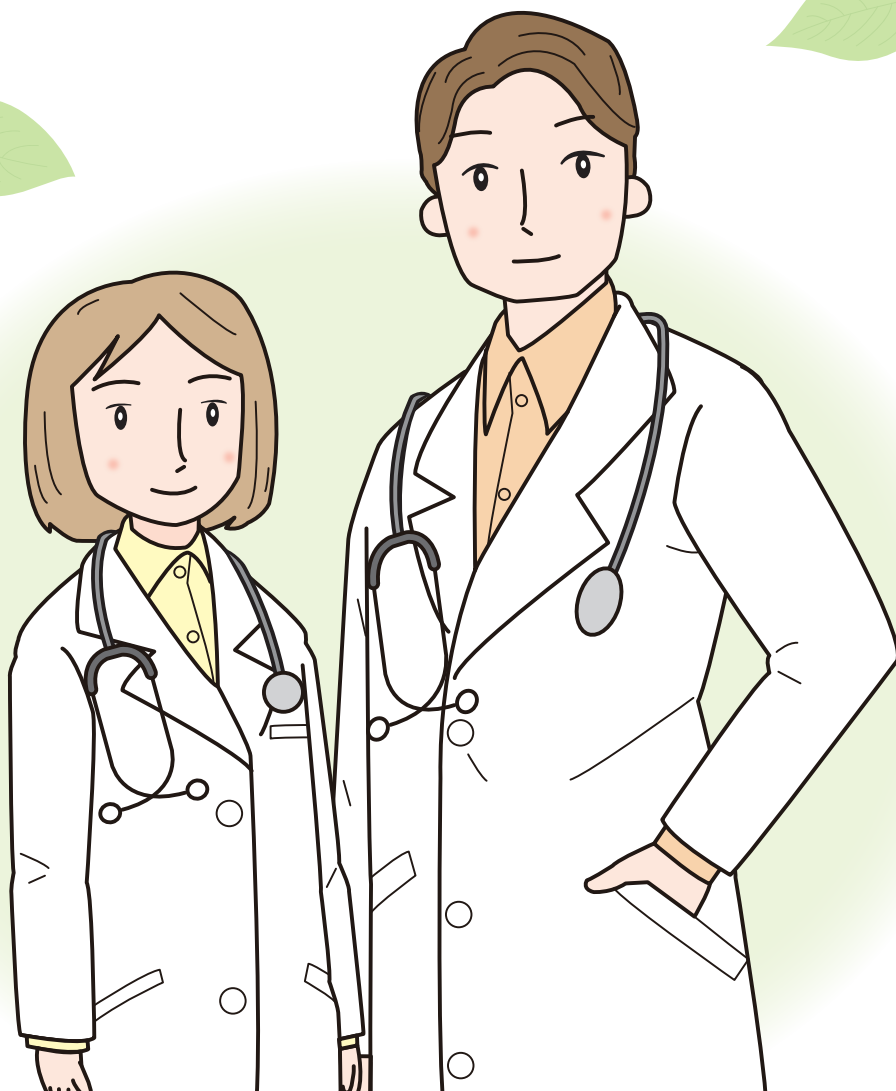


けっこういいぞ！
NHO

National Hospital Organization

医師の処遇

(2025年度版)



国立病院機構（NHO）とは

理 念

私たち国立病院機構は

国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のために
たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに
患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し
質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます

臨床・研究・教育の充実

臨 床

国立病院機構は、がん、循環器病、難病をはじめとする多様な疾患に、140病院による全国的ネットワークで取り組むとともに、地域のニーズにあった医療の提供を目指しています

研 究

140病院からなるネットワークによる豊富な症例を活かした臨床研究を推進し、EBMのためのエビデンスづくりと、臨床評価指標の作成・改善を行っています

教 育

明日の医療を担う質の高い医療人を育成するため、独自の臨床研修プログラムをはじめとする国立病院機構ならではのサポート体制を充実させています

北海道東北グループ 20病院

- | | |
|--------------|--------------|
| 【北海道】 | ・釜石病院 |
| ・北海道がんセンター | 【宮城県】 |
| ・北海道医療センター | ・仙台医療センター |
| ・函館医療センター | ・仙台西多賀病院 |
| ・旭川医療センター | ・宮城病院 |
| ・帯広病院 | 【秋田県】 |
| 【青森県】 | ・あきた病院 |
| ・弘前総合医療センター | 【山形県】 |
| ・八戸病院 | ・山形病院 |
| ・青森病院 | ・米沢病院 |
| 【岩手県】 | 【福島県】 |
| ・盛岡医療センター | ・福島病院 |
| ・花巻病院 | ・いわき病院 |
| ・岩手病院 | |

九州グループ 28病院

- | | |
|--------------|---------------|
| 【福岡県】 | ・熊本南病院 |
| ・小倉医療センター | ・菊池病院 |
| ・九州がんセンター | ・熊本再春医療センター |
| ・九州医療センター | 【大分県】 |
| ・福岡病院 | ・大分医療センター |
| ・大牟田病院 | ・別府医療センター |
| ・福岡東医療センター | ・西別府病院 |
| 【佐賀県】 | 【宮崎県】 |
| ・佐賀病院 | ・宮崎東病院 |
| ・肥前精神医療センター | ・都城医療センター |
| ・東佐賀病院 | ・宮崎病院 |
| ・嬉野医療センター | 【鹿児島県】 |
| 【長崎県】 | ・鹿児島医療センター |
| ・長崎病院 | ・指宿医療センター |
| ・長崎医療センター | ・南九州病院 |
| ・長崎川棚医療センター | 【沖縄県】 |
| 【熊本県】 | ・沖縄病院 |
| ・熊本医療センター | ・琉球病院 |

R7.4.1時点

病 院 数 ----- 140病院

病 床 数 ----- 48,073床

職 員 数 ----- 約64,000人

医 師 ----- 約6,000人

看護師 ----- 約42,000人

附属看護学校 ----- 26校

附属看護助産学校 ----- 3校

附属リハビリテーション学院 ----- 1校

National Hospital Organization

関東信越グループ 32病院

- | | |
|--|---|
| 【茨城県】
・水戸医療センター
・霞ヶ浦医療センター
・茨城東病院
【栃木県】
・栃木医療センター
・宇都宮病院
【群馬県】
・高崎総合医療センター
・沼田病院
・渋川医療センター
【埼玉県】
・西埼玉中央病院
・埼玉病院
・東埼玉病院
【千葉県】
・千葉医療センター
・千葉医療センター千葉東病院
・下総精神医療センター
・下志津病院 | 【東京都】
・東京医療センター
・災害医療センター
・東京病院
・村山医療センター
【神奈川県】
・横浜医療センター
・久里浜医療センター
・箱根病院
・相模原病院
・神奈川病院
【新潟県】
・西新潟中央病院
・新潟病院
・さいがた医療センター
【山梨県】
・甲府病院
【長野県】
・東長野病院
・まつもと医療センター
・信州上田医療センター
・小諸高原病院 |
|--|---|

本 部

東海北陸グループ 18病院

- | | |
|---|--|
| 【富山県】
・富山病院
・北陸病院
【石川県】
・金沢医療センター
・医王病院
・七尾病院
・石川病院
【岐阜県】
・長良医療センター
【静岡県】
・静岡てんかん・神経医療センター | ・天竜病院
・静岡医療センター
【愛知県】
・名古屋医療センター
・東名古屋病院
・東尾張病院
・豊橋医療センター
【三重県】
・三重病院
・鈴鹿病院
・三重中央医療センター
・榊原病院 |
|---|--|

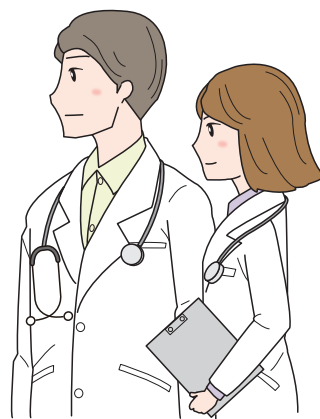
近畿グループ 20病院

- | | |
|--|--|
| 【福井県】
・敦賀医療センター
・あわら病院
【滋賀県】
・東近江総合医療センター
・紫香楽病院
【京都府】
・京都医療センター
・宇多野病院
・舞鶴医療センター
・南京都病院
【大阪府】
・大阪医療センター
・近畿中央呼吸器センター | ・大阪刀根山医療センター
・大阪南医療センター
【兵庫県】
・神戸医療センター
・姫路医療センター
・兵庫あおの病院
・兵庫中央病院
【奈良県】
・奈良医療センター
・やまと精神医療センター
【和歌山県】
・南和歌山医療センター
・和歌山病院 |
|--|--|

中国四国グループ 22病院

- | | | |
|---|--|---|
| 【鳥取県】
・鳥取医療センター
・米子医療センター
【島根県】
・松江医療センター
・浜田医療センター
【岡山県】
・岡山医療センター
・南岡山医療センター | 【広島県】
・呉医療センター
・福山医療センター
・広島西医療センター
・東広島医療センター
・賀茂精神医療センター
【山口県】
・関門医療センター
・山口宇部医療センター
・岩国医療センター
・柳井医療センター | 【徳島県】
・とくしま医療センター東病院
・とくしま医療センター西病院
【香川県】
・高松医療センター
【愛媛県】
・四国こどもとおとなの医療センター
・四国がんセンター
・愛媛医療センター
【高知県】
・高知病院 |
|---|--|---|

1 給料の仕組み



国立病院機構の医師の給与は、独自の給与規程に基づき支給
医長以上は、業績が給与に反映される年俸制の仕組みを導入しております

年収

総支給額見込

令和6年度

院長
(平均年齢:63歳)

平均 約 **2,030**万円 (約1,790万円～)

副院長
(平均年齢:60歳)

平均 約 **2,010**万円 (約1,560万円～)

部長
(平均年齢:58歳)

平均 約 **1,870**万円 (約1,440万円～)

医長
(平均年齢:53歳)

平均 約 **1,710**万円 (約1,220万円～)

医師
(平均年齢:43歳)

平均 約 **1,570**万円 (約870万円～)

※ 上記の平均金額は1年間在職した各役職における職員の総支給額(税金や社会保険料等を控除する前の額)の平均であり、個人によって、基本給(年齢、経験年数の長短)、年2回の賞与(NHO在職期間、評価結果)、勤務実績に応じて支給される手当(超過勤務時間数、宿日直回数等)、生活関連手当(扶養手当等の有無)の金額が異なるため差が生じます

※ ()内の金額は、令和6年度の各役職において、上記の要因により最も低い金額を参考値として記載しています

2 各種手当



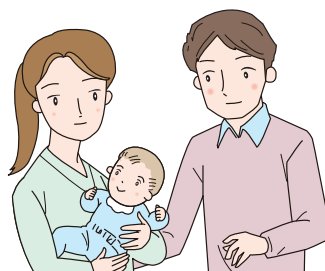
勤務実績に応じて支給される手当

- 医師手当
- 業績手当
- 宿日直手当
- 救急呼出等待機手当(オンコール手当)
- 救急医療体制等確保手当
- 役職手当
- 役職職員特別勤務手当
- 附加職務手当
- 特殊業務手当
- 夜間看護等手当
- 派遣手当
- 超過勤務手当
- 年度末賞与
- ヘリコプター搭乗救急医療手当
- 時間外手術等従事手当
- 支援団体業務手当
- 等

生活関連手当

- 扶養手当
- 住居手当
- 通勤手当
- 単身赴任手当
- 地域手当
- 等

3 子育てをしながら働いてみませんか



育児休業

職員が3歳になるまでの子を養育するために休業することができる制度(分割して2回まで取得可能)を設けている

※別途、出生時育児休業として、子の出生の日から起算して8週間を経過する日の翌日までの期間内に分割して2回まで取得可能

育児短時間休業

職員が小学校入学前の子を養育するために、勤務時間を短縮して勤務することができる制度(週19時間25分～24時間35分の範囲で勤務時間を選択)があります

子育て等をサポートする様々な制度

- 出生サポート休暇
- 産前・産後休暇
- 保育時間
- 職員の妻が出産する場合の休暇
- 男性職員の育児参加のための休暇
- 子の看護等休暇
- 育児時間
- 育児を行う職員の早出遅出勤務
- 育児を行う職員の所定時間外勤務の免除
- 育児を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限

※ 詳細は、ワーク・ライフ・バランス応援ガイドブックをご参照ください

<https://nho.hosp.go.jp/files/000236569.pdf>

109病院で院内保育所完備

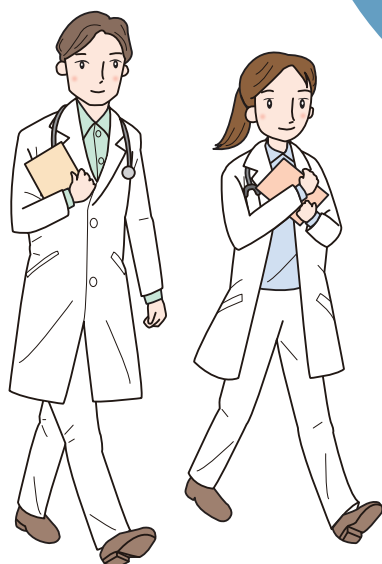
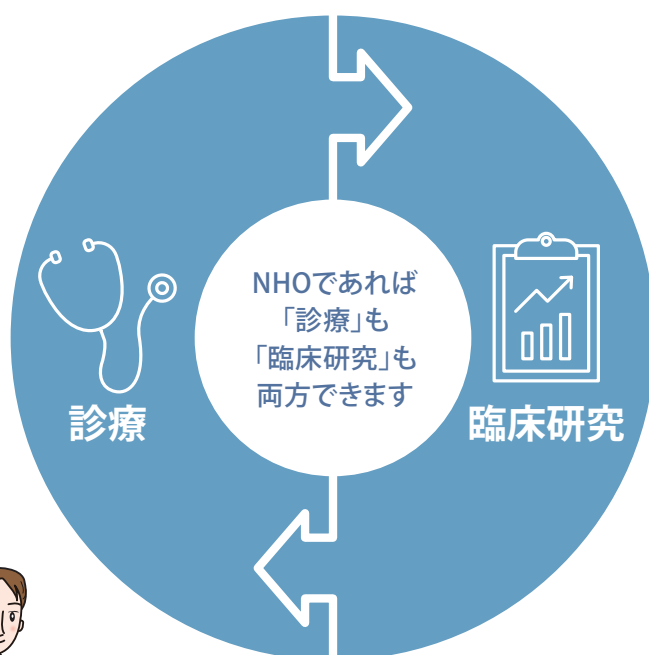


4 充実した医療活動 を送るために



臨床研究ができる環境と豊富な実績

- 英文論文数 年間2,000本以上
- 外部競争的資金の獲得額 年間20億円以上
- 厚生労働科学研究費補助金、文部科学省科学研究費補助金、科学研究費助成事業（科学研究費補助金、学術研究助成基金助成金）、日本医療研究開発機構研究費等の公的研究費の獲得が可能
- 機構病院の診療情報を集積した診療情報データベース（MIA・NCDA）を利活用し、豊富な症例データを基にした効率的な研究が可能



詳細については右記の二次元バーコードを参照ください
<https://nho.hosp.go.jp/research/>



医師のキャリアアップ

若手医師向けの スキルアップ機会提供

全国規模で行われる研修や若手医師
のみで行われるシンポジウム



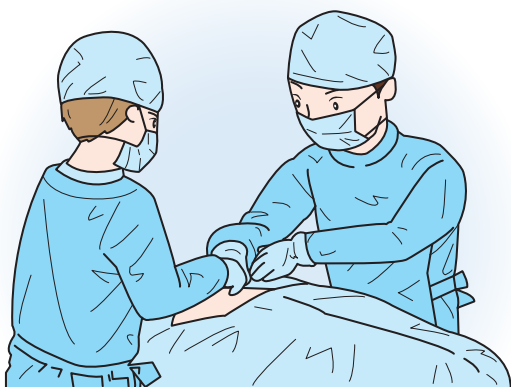
NHOフェローシップ

機構に所属する若手医師が、
自らのスキルアップを目的として、
一定期間の研鑽を積める制度



多彩な診療フィールド

全国の機構病院で、各地域における
専門医として実力を発揮することが
できるポストを準備



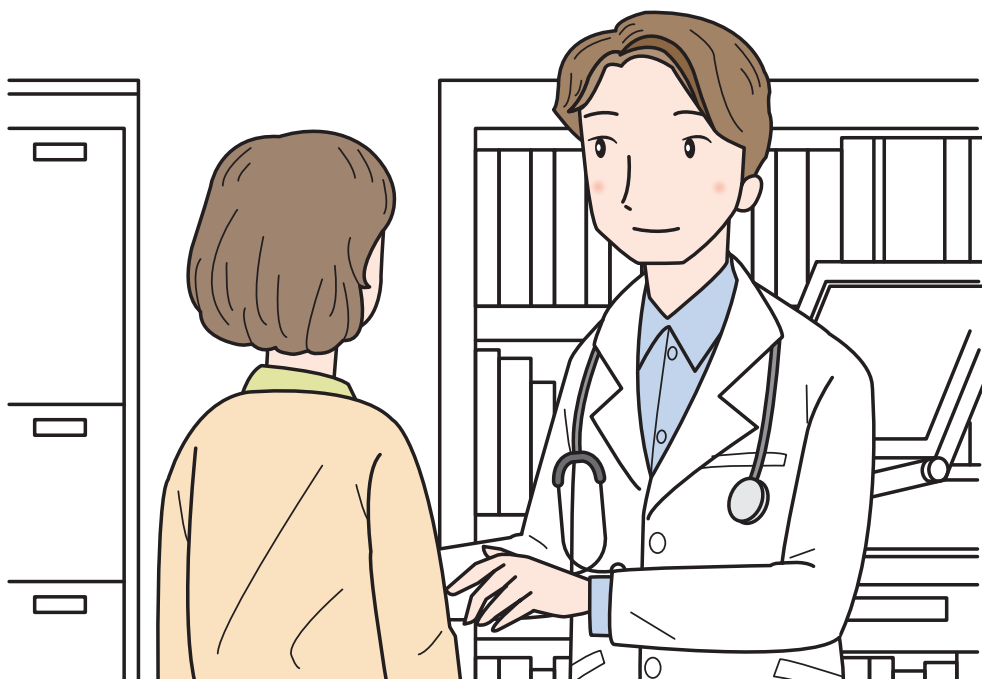
定年後のキャリア

シニアフロンティア制度^{*}等による
勤務延長の制度

^{*}医師確保が困難な病院等において、最高 70 歳
まで引き続き勤務することができる国立病院機
構独自の制度



※許可により兼業することも可能です



<https://nho.hosp.go.jp>

お問い合わせは最寄りの国立病院機構の各病院
または、国立病院機構本部へ



https://x.com/nho_headoffice

お問い合わせ先

国立病院機構本部



<https://www.facebook.com/nho.headoffice>

TEL 03-5712-5050（代表）

<https://nho.hosp.go.jp>